資　料　５－３

港湾事業　再評価（要点審議事業）

仙台塩釜港　石巻港区　雲雀野地区
国際物流ターミナル整備事業

平成28年9月30日
国土交通省　東北地方整備局

事業名	仙台塩釜港石巻港区雲雀野地区国際物流ターミナル整備事業	事業種別	国際物流ターミナル

該当基準	再々評価 （再評価実施後3年経過）

事業の目的

バルク貨物輸送船舶の大型化に対応し、効率的な物流基盤を整備することで、利用企業の物流効率化に寄与する。また、避泊水域を確保し、沖合航行船舶の海難事故減少を図る。

事業の概要

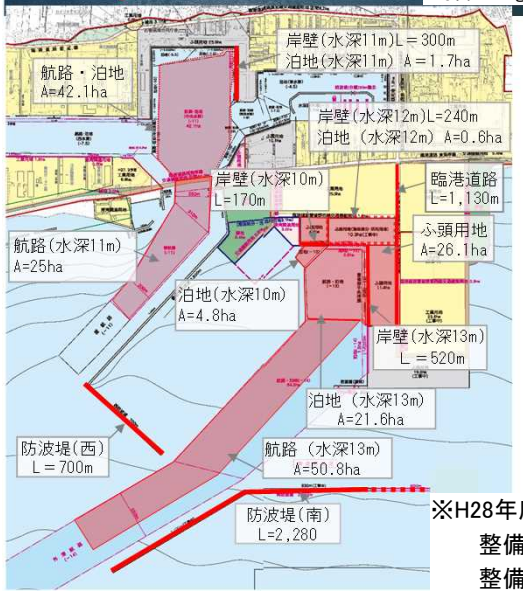
港名（港区）	仙台塩釜港（石巻港区）	港格	国際拠点港湾

対象施設	
	［雲雀野地区］ 防波堤（南）：2,280m、岸壁（水深13m）：520m、 航路（水深13m）：50.8ha、泊地（水深13m）：21.6ha 岸壁（水深12m）：240m、泊地（水深12m）：0.6ha 防波堤(西)：700m、岸壁（水深10m）：170m、 泊地（水深10m）：4.8ha、臨港道路：1,130m ふ頭用地：26.1ha ［釜地区］ 岸壁(水深11m)：300m、泊地（水深m）1.7ha 航路・泊地(水深11m)：42.1ha、航路（水深11m）：25ha
事 業 化	昭和58年度

今回評価（H28）			前回評価（H25）	
全体事業費	執行済額（H28年度末予定）	進捗率	全体事業費	執行済額
1,496億円	1,330億円	89%	1,496億円	1,273億円

【事業実施位置図】





※H28年度末予定

整備済 ：

整備未了：

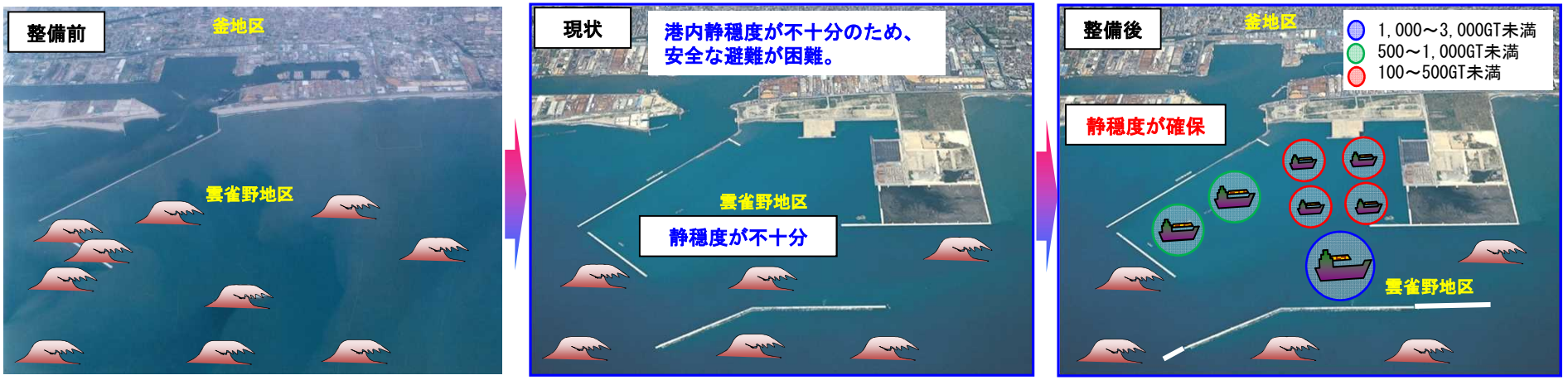
1. 事業の必要性に関する視点

・大水深岸壁を整備することにより、船舶の大型化に対応するとともに、岸壁不足により生じている沖待ちを解消することで、物流コストの削減を図り、地域産業の競争力向上に寄与する。
・雲雀野地区では港内静穏度が不足していることから、本来の荷役機能が十分発揮されていない。防波堤整備により、安全で効率的な荷役を確保するとともに、避泊水域の確保により、沖合航行船舶の海難事故の減少を図る。

既存岸壁の混雑が解消するとともに、一括大量輸送により物流コストが削減



防波堤の延伸により港内の静穏度が確保され、安全で効率的な荷役が確保されるとともに避泊水域の提供が可能



2. 前回評価との主な相違点

①事業費の変更→　変更なし

前回評価（H25年）	今回評価（H28年）
1,496億円	1,496億円

②便益の変更→　変更なし

項目		前回評価（H25年）	今回評価（H28年）	備　考
輸送便益	木材チップ	93.6万ﾄﾝ	93.6万ﾄﾝ	変更無し。ヒアリングにより確認。
	石炭	55万ﾄﾝ	55万ﾄﾝ	
	原木	26.5万ﾄﾝ	26.5万ﾄﾝ	
	穀物	44.5万ﾄﾝ	44.5万ﾄﾝ	
滞船費用削減便益	滞船解消時間	8,724時間/年	8,724時間/年	
避泊便益	海難における損失回避	7隻	7隻	避泊可能水域の設定に変更無し。

③完成予定の変更→　変更なし

事業期間　S58～H32

④前回評価における費用便益分析（B/C）

事業全体	1.2
残事業	4.7